コースコード：CT-N465
税込価格：132,000円 (税抜価格：120,000円)
日数：2日間

前提条件

「ネットワークファーストステップ」コースを修了、または同等の知識を有している方

受講対象者

無線LANに携わるSE/CE

コース概要

企業向け無線LANに携わるネットワークエンジニアを対象としたコースです。
ネットワークのライフサイクル(計画→設計→構築→運用)において、各フェーズで必要となる知識を、座学と実機演習を通して学習します。
RADIUSサーバや認証局の設定も実機で確認できるため、WPA/WPA2エンタープライズモードを導入予定の方に最適なコースです。

目的

・求められる無線LAN要件を理解し、適切な伝送規格、セキュリティ方式、その他必要な機能を選定することができる
・無線LAN導入前の電波環境調査(サイトサーベイ)を実施することができる
・WPA/WPA2エンタープライズモード(IEEE802.1X/EAP認証)を導入することができる

アウトライン

●無線LAN概要
・無線LANとは
・無線LANの規格（IEEE & Wi-Fi）
・無線LANの構成要素
・SSID
・チャネル
・CSMA/CA
・RTS/CTS
・無線LANの高速化技術
－MIMO/SDM
－チャネルボンディング
－フレームアグリゲーション
・IEEE802.11アソシエーション
●無線LANのライフサイクル
・「計画」フェーズ
・「設計」フェーズ
・「構築」フェーズ
・「運用」フェーズ
・無線LANの管理設定
・集中管理型無線LANの特徴
●トポロジ設計
・物理トポロジ設計のための事前調査

・2.4/5GHz帯の相違点
・適切な周波数の選択
・AP数の検討
・チャネル設計
・サイトサーベイ
・論理トポロジ設計の評価基準
・論理トポロジ設計例
●セキュリティ対策
・無線LANの脅威
・技術面の対策
－APステルス機能（SSID隠ぺい/ANY接続拒否）
－MACアドレスフィルタリング
－WEP
－WPA/WPA2パーソナル（PSK認証）
－WPA/WPA2エンタープライズ（IEEE802.1X/EAP認証）
・管理面の対策
－電波の伝搬範囲の適切な設定
－ログの収集・保存・分析
－電波状況の監視
・「計画/設計/構築/運用」の各フェーズで実施すべきセキュリティ対策

※コースカリキュラムは予告なく変更となる可能性があります。

[テキスト]
テキスト、演習資料は紙を使用いたします。